

令和6年度 第2回湖陵地域学校運営ブロック協議会報告

令和7年2月20日(木)、湖陵小学校において今年度第2回目の湖陵地域学校運営ブロック協議会を開催いたしました。

会の冒頭で、川上会長から次のとおりの挨拶をいただきました。寒さに負けず、元気に登園・登校や挨拶をする子どもたちから元気をもらっている。出生数の減少や他校への進学による入学児童・生徒数の減少、学級数の減少など課題はあるが、本会においてみんなで知恵を出し合い、湖陵地域の子どもたちの健やかな成長を支えていきたい。ひいては湖陵地域の活性化や発展につなげていきたい。



【各園・学校の様子から】

〈湖陵中学校〉

- ・全校が落ち着いた雰囲気の中で学習・生活に取り組んでいる。教育長訪問の際には、話を聞く姿勢や学習に向かう姿勢がよいと褒めていただいた。
- ・文化面での活躍が際立ち、税の作文やレシテーションコンテスト（英語の暗唱コンテスト）、美術部の作品等がたくさん入賞した。
- ・野球部・バレー部が自校単独でチームを組めた。吹奏楽部と併せて、生徒も教員も部活動を熱心に頑張っている。
- ・令和6年度は不登校相談員が配置されている。組織的な対応により、対象の生徒が学校に向かえるようになったり、適切な進学につながったりしている。

〈湖陵小学校〉

- ・全体的に落ち着いた学校生活を送っている。学力の伸びや交友関係の充実につながっている。
- ・体育会や学習発表会、6年生を送る会など、全校の行事を通して学校・学年・学級の一体感が生まれ、大変盛り上がった。一人一人や全体の変容・成長につながっている。
- ・図画作品や人権ポスター、税の絵はがき、俳句、書初め等、細やかな指導のもと根気強く取り組んだ結果、多くの児童が入賞し、達成感や自信につながっていた。

〈湖陵幼稚園〉

- ・何年かぶりに神事華を見せていただき、幼稚園でも作ってお祭りごっこをしたり、生活発表会で披露したりすることができた。
- ・高齢者施設との交流やコミセンカフェでは、園児の発表や触れ合い遊びを喜んでもらった。ハマナス保育園との交流も楽しく実施することができた。
- ・地域にもたくさん出かけ、湖陵町の「ひと・もの・こと」としっかりつながることができた。特に稲作体験に参加させていただき、田植え・稲刈り・餅つきを地域の方と一緒に取り組めたことは貴重な体験となった。

〈ハマナス保育園〉

- ・ハマナス保育園は、3、4、5歳児と一緒に生活をするたてわり保育をしているが、毎年、小学校の就学を見据えて、年長児は1月中旬頃から同年齢のクラス編成にすると同時に、2、3、4歳児のたてわりクラスを作り新年度より早めのたてわりクラスをスタートしている。年上の子が年下の子のお世話をしたり一緒に遊んだり、異年齢での関わりがよい人間関係づくりにつながっている。
- ・全国的に出生数が減少しており、その影響は大きく、保育園の入所人数も減ってきている。

【質疑応答・意見交換】

- ・湖陵町の人口は20年間で約1,000人減少している。今後も人口の増減について注視し、様々な対策を講じていく必要がある。(各園・学校、家庭、地域が果たす役割や求められることは?)
- ・「誰でも通園制度」導入の話題が挙がっている。職員の不足、施設設備の修繕要望の通りにくさといった課題と関連させて対応していく必要がある。
- ・体験不足等からくる体幹の弱さ、けがの増加(転倒時に手をつけない、球技による突き指等)は各園・学校共通の課題である。保幼小中連携のテーマの一つとして検討していく必要がある。
- ・ライフスタイルや価値観に多様性が見られるようになり、保護者の中

【裏面あり】

でも意見や考え方の幅が広がっている。丁寧な説明や情報共有の場が求められている。

- ・中学生の中には時間も関心・意欲もある生徒がいるので、ぜひ地域ボランティアとして交流活動やイベント、掃除等に参加させてほしい。(声をかけてほしい)

各園・学校のふるさと教育の取組から

ハマナス保育園

毎年、JAしまね出雲女性部湖陵支部の方にご協力いただき、4歳児が味噌作りをしています。今年も味噌作りの工程を替え歌で歌い、スタートしました。子ども達は、蒸した大豆を味見して大豆本来の味を感じたり、すり鉢で大豆をつぶしたりする経験をしました。最後に丸めて味噌玉を作り、「おいしくなあれ」と思いを込めながら樽に投げ込みました。来年の秋頃に出来上がり、給食で使う予定です。

生活が便利になった今だからこそ、子どもたちにとって新鮮で興味深い経験だと思います。今後も地域に支えて頂きながら、活動を続けていきたいと思っています。



湖陵幼稚園

～地域の素材を生かした遊び込み～

神西湖や差海川、バラ園、三部八幡宮等の神社や公園に出かけ、湖陵の地域での体験を遊びに取り入れています。神西湖に出かけた時、くにびき荘の「くにびきってなんだろう？」と疑問をもった子供たちは、実際に確かめに出かけ、神様や神社、神話と関係があることを知りました。これらの体験をさらに、園内での湖陵探検マップや湖陵探検すごろく作り等の遊びや生活発表会に取り入れ、その中で試行錯誤したり、友達と考えを出し合ったりして楽しみました。この遊びを通して、湖陵町のよさや楽しさを感じていました。



湖陵小学校

～「お米博士になろう」～

5年生は、年間を通して地域の農業の一つであり、日本の食を支える米作りについて調べました。1学期初めには、地域の方を講師に迎え、米作りについての話を聞き、興味・関心を高めました。そして、湖陵地区社会福祉協議会や湖陵コミュニティセンターの皆さん、地域ボランティアの皆さんのご支援、ご協力のもとで、田植え・稲刈り・餅つきなどの体験学習をさせていただき、米作りのための努力や工夫、苦労など多くのことを学ぶことができました。そして、地域の方とのふれ合いから「ふるさと湖陵」に対する郷土愛を育むことができました。



湖陵中学校

～「地域講師の方から学ぶ」～

2年生は、総合的な学習の時間に「職業に関する学習」をしています。今年度もその学習の一環として、湖陵地域を中心に5事業所（特別養護老人ホーム湖水苑・吉田豊店・出雲市役所観光課・GAR B CLIFF TERRACE IZUMO・新宅米農家）から講師をお招きし、講話・質疑応答を行いました。働くことの意義や、やりがいなどについて直接聞くことを通して、働くことについて深く考えるよい機会になりました。

